

なるほどの♪



学校教育担当  
キャラクター  
甲斐善之助

# 西部教育局からのお役立ち情報 今月のトピック紹介版

11月号



## 小学校外国語科の評価の充実を図る！ ～「読むこと」における評価のポイント編～

単元到達度評価問題の活用

昨年度の課題から

指導のポイントを探る！（11月）

「特別支援教育ほっと通信」

交流及び共同学習とは

西部地域開催 鳥取県エキスパート認定教員による  
公開授業の御案内

目標：「読むこと」イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

### 評価の場面

自分たちが住む地域について伝えたい内容を整理し、自分の気持ちや考えを伝えるために作成したオリジナルポスターを互いに読み合い、分かったことをワークシート②に書く。



### 単元の評価規準の例(読むこと)

- 知識・技能** 施設・建物を表す語句やWe (don't) have ～. We can enjoy/see ～. I want ～. の表現、終止符の基本的な符号について理解している。自分たちが住む地域について、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現で書かれた友達の考えや気持ちなどを読んで意味が分かるために必要な技能を身に付けている。
- 思考・判断・表現** 自分たちが住む地域についてよりよく理解するために、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現で書かれた友達の考えや気持ちなどを読んで意味が分かっている。



「読むこと」の評価をするためには、児童の書いたものをどのように見取ればよいのだろうか？

**こう見取る！(例)**

**【十分満足できる状況A】**

関わる語句や表現を識別し、推測して読み、「町にあるもの」と、「よいと思う理由」の両方について記述がある。

児童 1

友だちの名前 Mさん

町のよいところ

町にあるもの 大きな公園

よいと思う理由は？ ジョギングが楽しめる。

**知識・技能 A**

上に書いた町のよいところやその理由の他に、友だちや町のことで分かったことを書きましょう。

私もMさんが書いていたとおり大きな公園があるからこの町のいいところだと思う。それに、図書館があるとみんなが本を読めてよりいいと思う。Mさんが本が好きなことを初めて知った。

**思考・判断・表現 A**

児童 2

友だちの名前 Mさん

町のよいところ

町にあるもの 大きな公園

よいと思う理由は？

**知識・技能 B**

上に書いた町のよいところやその理由の他に、友だちや町のことで分かったことを書きましょう。

私も大きな公園があるからこの町がいいと思う。図書館はなくても本屋さんがあるからいいと思う。

**思考・判断・表現 B**

**こう見取る！(例)**

**【おおむね満足できる状況B】**

「公園」については識別し、意味も捉えられているが、楽しめることについて記述がない。

**【十分満足できる状況A】**

オリジナルミニポスターに書かれていることを読んで十分に意味が分かっており、ポスターを読むことで、町のことや相手のことについてより理解できていることが読み取れる。

**【おおむね満足できる状況B】**

町や友達のことで分かったこととして、町にあるものやないものについてのみ考えを書いている。

上記評価項目に満たない「努力を要する状況C」と判断した児童がいた場合、対象児童の様子を注視しつつ、今回意味が捉え難かったものだけでなく次の単元以降で扱う語句や表現についても、音声とともに文字を添えた絵カード、文等に何度も触れさせる場面を設けるなどして、「おおむね満足できる状況B」となるよう、意図的な支援や指導を継続して行うことが大切です。



【参考】文部科学省国立教育政策研究所 『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』の第3編より引用(一部加工)

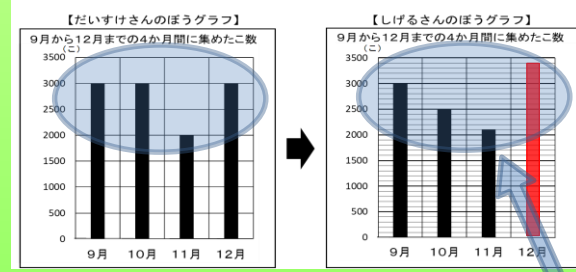
## 第4学年「がい数とその計算」

(3) しげるさんたちは、地いきの人にもよびかけて、キャップ集めをすることにしました。その結果、12月は3372こ集まりました。たくさん集まったことを地いきの人にわかりやすく伝えるために、ぼうグラフで表すことにしました。

千の位までのがい数でぼうグラフを表すと、12月は9月、10月と同じ3000こになってしまふよ。  
12月にたくさん集まったことがわかるぼうグラフにするためには、どうすればいいのかな

今までは、千の位までのがい数にしていたけど、百の位までのがい数にしてぼうグラフを表すといいんじゃないかな。

上の全文を読んで、【しげるさんのぼうグラフ】に、12月に集めたこ数を、四捨五入したがい数でぼうグラフに表しましょう。(答え1点)



だいすけさんのぼうグラフを見ると、9月、10月、12月が多く集まった月と言えるけど、それでいいのかな？

千の位までのがい数で表したら、9月、10月、12月がどれも3000になったんだ。

**注目!** 問題場面で求められていることに着目するための教師の問いかけ  
何をわかりやすく表したいのかな？

12月が一番多いことがわかるグラフにしたいよね。

百の位までのがい数にすると、12月は、3000ではなくて、3400になるよ。9月や10月はどうか？

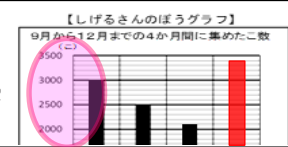
他の月も百の位までのがい数で表すと、集めた数のちがいははっきりするよ。

月	9月	10月	11月	12月
こ数(こ)	3009	2514	2120	3372
百の位までのがい数	3000	2500	2100	3400

(単元到達度評価問題 第4学年 昨年度11月実施分より)

日常の問題を解決する場合は、まず、問題場面で求められていることに着目する必要があります。グラフに表した後、問題場面に照らして児童自らが判断したり、それが適切かどうかを振り返ったりする場面を設けることが大切です。

**発見!** 百のくらいまでのがい数でグラフに表すなら、500ごとの目盛りの間を5つに分けて100ごとの目盛りを加えるとかきやすくなるよ。



すごいね。がい数にする位を変えたら、グラフの形が変わって、12月が一番多いことがわかりやすくなったね。

がい数の表し方によって、グラフの形も変わるから、目的に合わせて、どこの位までのがい数にするか、グラフの目盛りをいくつにするかなどを考えるとわかりやすい表し方ができるね。

解決の目的にあった数の処理の仕方を考える。

## 第5学年「単位量あたりの大きさ」

2 AとBの2つのシートがあります。

右の表は、シートの上にすわっている人数とシートの面積を表しています。どちらのシートのほうがこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

A  $12 \div 6 = 2$       B  $8 \div 5 = 1.6$

上の計算からどのようなことがわかりますか。次のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。(答え2点)

	A	B
すわっている人数とシートの面積	人数(人) 面積(m <sup>2</sup> )	人数(人) 面積(m <sup>2</sup> )
A	12      6	8      5
B	8      6	5      5

- ア 1人あたりの面積は2㎡と1.6㎡なので、Aのほうがこんでいる。
- イ 1人あたりの面積は2㎡と1.6㎡なので、Bのほうがこんでいる。
- ウ 1㎡あたりの人数は2人と1.6人なので、Aのほうがこんでいる。
- エ 1㎡あたりの人数は2人と1.6人なので、Bのほうがこんでいる。

(単元到達度評価問題 第5学年 昨年度11月実施分より)

単位量あたりの大きさを求める問題に対しては、依然として課題があります。問題場面を図で表して式にしたり、式に表した関係を図で表したり、図や式の意味を言葉で説明したりと、式の意味を問題場面や図と関連付ける場を設定することが大切です。

どちらが混んでいるが比べるために、  
A  $12 \div 6 = 2$   
B  $8 \div 5 = 1.6$   
と計算したんだけど…。

ぼくは、混み具合を調べるために、  
A  $6 \div 12 = 0.5$   
B  $5 \div 8 = 0.625$   
と計算したよ。

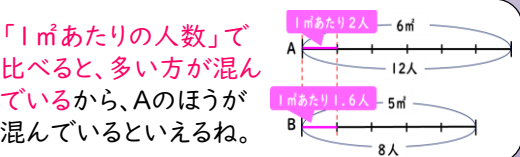
二人とも、わり算で計算しているけど、それぞれ式が違うね。何を求めて比べようとしているのかな？

面積で割るということは、「1㎡あたりの人数」を、人数で割るということは、「1人あたりの面積」を求めていることになるよね。

ということは、  
A 1㎡あたり2人  
B 1㎡あたり1.6人  
になるんだ。

ぼくの計算は、  
A 1人あたり0.5㎡  
B 1人あたり0.625㎡  
になるということだね。

**注目!** 求めた割合を比較して判断するための問いかけ  
どちらが混んでいるといえるのかな？



なるほど。求めた大きさを比べると混み具合がわかるね。

単位量あたりの大きさを求める除法の式と商の意味を適切に捉えて判断する。

単位量あたりの量を求めて、それぞれの意味を考えて比較すると、どちらが混んでいるのかがわかるんだね。





## 各学校で行われている、「障害のある子供と障害のない子供、あるいは地域の障害のある人とが触れ合い、共に活動する交流及び共同学習」とは…

### □意義

- ・障害のある子供にとっても、障害のない子供にとっても、経験を深め、社会性を養い、豊かな人間性を育む。
- ・お互いを尊重し合う大切さを学ぶ。
- ・障害のある子供にとっては、積極的な社会参加につながる。
- ・障害のない子供にとっては、障害のある人と共に支え合う意識の醸成につながる。

### □目的

- ・相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育む。(交流の側面)
- ・教科等のねらいを達成する。(共同学習の側面)

「交流及び共同学習ガイド」平成31年3月 文部科学省より抜粋

様々な活動を通して、子供たちが幅広い体験を得、視野を広げることで、豊かな人間形成に資することが期待されます。



小学校及び中学校学習指導要領においても、交流及び共同学習の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むようにすることとされています。(第1章 総則 第5 学校運営上の留意事項 参照)



上記の意義を理解し、目的を達成するために、現在各学校で実施されている交流及び共同学習の在り方について、以下のチェックリストで確認し、「△…十分ではない」部分については改善しましょう!



## 交流及び共同学習チェックリスト(特別支援学級担任及び交流学級担任用)

現状を確認してみましょう。(○…できている △…十分ではない)

I 事前準備	
	特別支援学級担任と交流学級担任とで、週案や授業内容等の共有をしている。
	特別支援学級担任と交流学級担任とで、交流及び共同学習の事前打ち合わせを行い、必要な情報を共有している。
	特別支援学級の児童生徒本人、保護者(家族)の思いや願いを聞き取り、交流及び共同学習に反映させる工夫をしている。
	交流学級の児童生徒が特別支援学級の児童生徒について理解できるよう工夫している。 (好きなこと、苦手なこと、コミュニケーションの方法、必要な支援や協力の仕方を事前に伝える等)
	特別支援学級の児童生徒が、交流学級に帰属意識をもてるよう工夫している。 (机・いすの準備、作品などの掲示等)
II 目標設定の工夫と学習活動の変更調整	
	特別支援学級の児童生徒と交流学級の児童生徒それぞれの実態に応じて、交流及び共同学習の目標や教科領域の目標を設定し、目標に向かって取り組んでいる。
	特別支援学級の児童生徒が学習に取り組みやすいよう、活動の設定を工夫している。 (参加する場面の設定、授業・学習活動の内容や方法の変更調整等)
	特別支援学級の児童生徒の、心理的・身体的負担を考慮した計画を行っている。
III 子どもの積極的参加のための活動の工夫	
	特別支援学級の児童生徒と交流学級の児童生徒が、相互に協力しながら取り組めるよう工夫している。 (ペア学習、グループ学習等)
	特別支援学級の児童生徒の実態に適した補助的教材や教具等を工夫している。
	特別支援学級の児童生徒も交流学級の児童生徒も理解しやすいように、情報を様々な方法で提示している。
	特別支援学級の児童生徒も交流学級の児童生徒も、活動の中で自分に合ったやり方を考えたり選択したりできるよう工夫している。
	特別支援学級の児童生徒も交流学級の児童生徒も自分の思いを表現できるよう、発表や表現の仕方を工夫している。
	授業場面のみでなく、休み時間や生活場面でも、児童生徒同士が主体的に関わりをもてるよう工夫している。
IV スタッフの役割と子どものサポート	
	特別支援学級担任、交流学級担任、支援員、保護者等の関係者が、交流及び共同学習での役割を確認し、目標の達成に向けて取り組んでいる。
	交流学級の児童生徒が多様性を尊重する心を育むことができるよう、交流学級担任自身がモデルとなることを意識して特別支援学級の児童生徒と関わっている。
V 事後学習と評価	
	交流及び共同学習の後に、特別支援学級の児童生徒や交流学級の児童生徒が学習を振り返ることができるよう工夫している。
	交流及び共同学習の授業・学習活動についての担任や児童生徒の振り返りを、次回の学習に活かしている。
	交流及び共同学習をより充実させるために、間接的な交流に取り組んでいる。 (学級便りを届ける、お互いの学級の様子を伝える等)

鳥取県教育委員会「特別支援教育の手引」(令和2年3月)の図表を加工して作成

交流及び共同学習の実施に当たっては、文部科学省が作成している「交流及び共同学習ガイド」が参考になります。文部科学省のホームページからダウンロードできますので参考にしてください。



# 公開授業の御案内

## チャンス!

子供たちが「わかった」「できた」を実感する授業を行うためには、教育技術を磨き続けることが大切です。優れた教育実践を行ってられるエキスパート教員の授業を参観することは、貴重な学びの機会です。この機会をぜひ、御自身のスキルアップに御活用ください。

11月6日(金)

認定分野  
「小学校 学級経営」  
日吉津村立  
日吉津小学校  
西伯郡日吉津村日吉津872の12  
●授業者  
高橋 延子 教諭

●開催時間  
【受付】 13:20~13:40  
【公開授業】13:40~14:25  
【研究協議】14:50~16:30

申し込み締め切り  
10/30  
(金)

●授業内容  
【単元名】第3学年  
算数  
「1けたをかけるかけ算の筆算」  
【授業のポイント】  
・「教えて考えさせる授業」の組み立ての中で何を教え、何を考えさせるか。  
・学びを見取る児童同士の説明活動。  
・発展的課題の協同解決でどのように理解が深まるか。

11月13日(金)

認定分野  
「特別の教科 道徳」  
米子市立  
就将小学校  
米子市愛宕町94番地  
●授業者  
傘井 陽子 教諭

●開催時間  
【受付】 13:10~13:25  
【公開授業】13:30~14:15  
【研究協議】14:40~16:00

申し込み締め切り  
11/10  
(火)

●授業内容  
【単元名】第4学年  
道徳  
「雨のバスでいりゆう所へ」  
【規則の尊重】  
【授業のポイント】  
・導入によって問題意識をもたせ、学習テーマを共有する。  
・児童の問題意識や発言をもとに問いをつくる。また、問い返しによって、児童の考えを深めたり、つなげたりする。  
・児童の思考の拠り所となる構造的な板書をする。

11月16日(月)

認定分野  
「小学校 算数」  
南部町立  
西伯小学校  
西伯郡南部町法勝寺336  
●授業者  
河上 英仁 教諭

●開催時間  
【受付】 13:15~13:45  
【公開授業】13:50~14:35  
※希望により、協議時間の設定可

申し込み締め切り  
11/9  
(月)

●授業内容  
【単元名】第4学年  
算数  
「図を使って考えよう」  
【授業のポイント】  
・算数科における協同的問題解決学習を行う。  
・関わり合いを通して主体的に学ぶ児童を育てる。  
・協同的な学びを促す教師の支援について提案する。

11月18日(水)

認定分野  
「小学校 学級経営」  
米子市立  
福米西小学校  
米子市西福原8丁目16番62号  
●授業者  
永松 奈緒 教諭

●開催時間  
【受付】 13:45~14:10  
【公開授業】14:15~15:00  
【研究協議】15:25~16:40

申し込み締め切り  
11/11  
(水)

●授業内容  
【単元名】第5学年  
国語  
「大造じいさんとがん」  
【授業のポイント】  
・全員が授業に参加できるための手立て

11月25日(水)

認定分野  
「小学校 学級経営」  
南部町立  
会見小学校  
西伯郡南部町宮前568  
●授業者  
三浦 一美 教諭

●開催時間  
【受付】 13:40~13:55  
【公開授業】14:00~14:45  
【着替え・帰りの会】14:45~15:15  
【研究協議】15:15~16:40

申し込み締め切り  
11/19  
(木)

●授業内容  
【単元名】第1学年  
体育  
「ポップコーンがとびだして…」  
【授業のポイント】  
・自分の思いを体全体で表現できる学級  
・友達の表現を認め合うことができる子  
・1年生の今、身につけておきたい力

11月26日(木)

認定分野  
「小学校 特別活動」  
米子市立  
福生東小学校  
米子市皆生5丁目18番地32号  
●授業者  
千代 曜子 教諭

●開催時間  
【受付】 13:15~13:30  
【公開授業】13:40~14:25  
※希望により、協議時間の設定可

申し込み締め切り  
11/20  
(金)

●授業内容  
第4学年  
特別活動  
「学級活動(1)」  
【授業のポイント】  
・話合いの経験が少ない児童が、実践を通して話合いの進め方や合意形成の方法を学ぶ様子。またその助言。  
・学級会と学級経営の関連。

11月27日(金)

認定分野  
「小学校 学級経営」  
米子市立  
明道小学校  
米子市陽田町74番地2  
●授業者  
井手 葉子 教諭

●開催時間  
【受付】 13:15~13:30  
【公開授業】13:30~14:15  
【研究協議】14:30~15:30

申し込み締め切り  
11/20  
(金)

●授業内容  
【単元名】第5学年 少人数グループ  
算数  
「割合」  
【授業のポイント】  
・図を使って考えたり説明したりするなど、答えに至る過程や理由を大切にします。

ファクシミリ送信票で、実施校へ直接申し込みをしてください。

※公開授業等については、C4thでも各校へ連絡させていただいております。

※開催要項とファクシミリ送信票は、鳥取県教育センターホームページ

【エキスパート教員授業案内】からダウンロードできます。

※公開授業ごとに、締め切り日が異なりますのでご注意ください。

参加  
申込





# 鳥取県エキスパート認定教員による 公開授業の御案内

11月4日(水)

●開催時間

【受付】 14:15~14:45  
【公開授業】14:45~15:35  
【研究協議】15:50~16:50

申し込み締め切り

10/29  
(木)

認定分野

「中学校 美術」

境港市立  
第一中学校  
境港市上道町1840

●授業者  
岩成 昭則 教諭

●授業内容

【単元名】第3学年  
美術 「色彩表現を学ぶ」

【授業のポイント】

- ・グラデーションによる色彩表現学習
- ・造形活動による表現学習

11月4日(水)

●開催時間

【受付】 14:20~14:35  
【公開授業】14:45~15:35  
【研究協議】15:45~16:30

申し込み締め切り

10/31  
(土)

認定分野

「中学校 理科」

境港市立  
第二中学校  
境港市竹内町2438番地

●授業者  
横田 勲 教諭

●授業内容

【単元名】第1学年  
理科「光による現象」

【授業のポイント】

- ・「光の反射」について、光の道すじの作図を活用して、鏡に映る範囲を考える課題に取り組む予定です。
- ・本校では、協同学習の理念をベースとした授業づくりに取り組んでいます。協同学習の理念をもとに、生徒が主体的に取り組み、関わりによって思考を深めるための手立てを意識した授業を行います。



チャンス!

子供たちが「わかった」「できた」を実感する授業を行うためには、教育技術を磨き続けることが大切です。優れた教育実践を行っておられるエキスパート教員の授業を参観することは、貴重な学びの機会です。この機会をぜひ、御自身のスキルアップに御活用ください。



11月13日(金)

●開催時間

【受付】 10:25~  
【公開授業】10:35~11:25

申し込み締め切り

11/4  
(水)

認定分野

「中学校 国語」

米子市立  
加茂中学校  
米子市両三柳3883

●授業者  
前田 彰子 教諭

●授業内容

【単元名】第1学年  
国語 いにしえの心に触れる  
「蓬萊の玉の枝」

【授業のポイント】

- ・「竹取物語」の教科書に載っていない作品を読み、物語の新たな発見をし、古典の世界に親しませる。
- ・図書館の資料を効果的に活用し、自分の考えを広げ、相手にわかりやすく発表するための準備をしているところが見どころ。

11月18日(水)

●開催時間

【受付】 10:10~10:40  
【公開授業】10:50~11:35

申し込み締め切り

11/16  
(月)

認定分野

「学級経営」「数学」

伯耆町立  
岸本中学校  
西伯郡伯耆町吉長90-1

●授業者  
岡 慎也 教諭

●授業内容

【単元名】第3学年  
数学 『未来を生き抜くための仮定と推論の形成』  
~フェルミ推定を活動例として~

【授業のポイント】

学級経営で大切にされている仲間意識と数学学習で培ってきた知識を融合させ、仮定と推論が論理的に妥当かどうかを判断する活動を展開する。

11月24日(火)

●開催時間

【受付】 13:15~13:30  
【公開授業】13:40~14:30  
【研究協議】15:00~16:50

申し込み締め切り

11/16  
(月)

認定分野

「中学校 英語」

米子市立  
弓ヶ浜中学校  
米子市富益町2070番地

●授業者  
山根 侑子 教諭

●授業内容

【単元名】第2学年  
英語「Program7」

【授業のポイント】

- ・「読むこと」から「書くこと」「話すこと」につなげる取り組み
- ・教科書本文の効果的な活用

ファクシミリ送信票で、実施校へ直接申し込みをしてください。

※公開授業等については、C4thでも各校へ連絡させていただいております。

※開催要項とファクシミリ送信票は、鳥取県教育センターホームページ【エキスパート教員授業案内】からダウンロードできます。

※公開授業ごとに、締め切り日が異なりますのでご注意ください。

参加  
申込